



市川市立妙典中学校だより 11月号

息吹 03



学校教育目標 未来を拓く妙典中学生 ~明るく・正しく・美しく~

○ふれあいを大切にする生徒 ○進んで学ぶ生徒 ○頑張り抜く生徒 令和3年11月17日

〔表題「息吹」は、妙典中学校歌、2番の歌詞「♪~世界の息吹うけとめて、生きる力を身につけん♪」から付けました。「03」は令和3年度を表しています。生きる力を身に付け、未来を拓く妙典中学生の育成を目指します。〕

全校集会にて

先日行われた全校集会で、こんな話をしました。

今日はこの後、新しい生徒会役員の任命式があります。選挙の時も言いましたが、前生徒会長はじめ、前生徒会役員の皆さんは困難なことも多い中、常に前向きに本当によく「生徒主体」の活動を引っ張って行ってくれました。新役員の皆さんもその姿勢を引き継ぎ、さらに新しい歴史を築いていってほしいと思います。

生徒会といえば、7月にPTA広報誌の記事にするというので、「生徒、保護者、学校の座談会」という企画があり、生徒会役員とPTA会長、校長の私が教頭先生の司会で対談しました。妙典中の今の様子やこれまでの歴史、将来のことなど、それぞれの立場で思いを伝えあい、とてもいい話し合いになりました。この様子を載せた広報誌は、いろいろな関係者に送付しているのですが、「これを読んで感激した」と、なんと妙典中の初代校長先生から、長いお手紙をいただきました。初代校長の石原孝一先生は、現在93歳ということですがお元気で、近隣市にお住まいだそうです。皆さんも知っていると思いますが、妙典中学校は市内16校の中で最も新しく、36年前に創立された学校です。お手紙には、当時、いろいろと苦労を重ねながら、生徒一人一人が輝く理想の学校を作ろうとされた思いと、この対談を読んで、今の妙典中が自分たちの思い描いた通りのとてもいい学校になっていて、妙典中生がしっかりした考えを持っていることへの嬉しい気持ちが綴られていました。

この石原孝一というお名前、どこかで聞いたことがあると思いませんか。そうです。妙典中の校歌の作詞をされた方です。私は以前にもこの学校に長く勤務していましたが、その時から妙典中の校歌は素晴らしいと思っていました。市内の学校の校歌ではおそらく唯一、初めから3部合唱の合唱曲として作曲されており、とても美しいメロディーです。そして、石原先生が作った爽やかで力強い歌詞が、すごくいいな、とずっと思っていました。それぞれの季節の、この地域の美しい風景が目に見え、そこで学ぶ生徒に託す思いがあらわれています。PTA広報誌の「なつくさ」というタイトルも、学校だよりの「息吹」も校歌からとったものです。歌詞には「理想」という言葉が3度出てきます。「きらめき」「輝き」という言葉も印象的です。「生徒一人一人が理想を求め、光り輝いてほしい」という願いが込められています。このところ感染予防のため、なかなか合唱の練習ができませんでしたが、ようやく校歌を歌う機会も増えてくると思います。これからは是非、代々の妙典中生が、ずっと大切にしてきた「妙典中学校 校歌」を、味わいながら、みんなで歌い上げてほしいと思います。

修学旅行に行ってきました

10月28日(木)29日(金)、修学旅行を無事に実施することができました。

初日の朝、秋晴れの爽やかな空気の中、大きな荷物を持って嬉しそうに登校する3年生。一人一人おでこで検温をしてもらい、アルコール消毒液のスプレーを受け取ってバスへ移動。いよいよ出発です。バス内は、おしゃべり、飲食禁止なので静かですが、上映された映画も楽しく、それほど退屈せずにマザー牧場に到着しました。



バスを降りると風は少し冷たいものの、日差しは暖かく野外活動には絶好の陽気。高台になっているので遠くまで見渡せて景色も抜群です。施設の人から説明を受けたら早速、オリエンテーリング開始。地図を見ながら班の仲間と協力して、広々とした敷地をめぐってポイントを探し、クイズに回答します。終了後はクラスごとに集合写真撮影とランチタイム。ハンバーグやソーセージが中心のボリュームなお弁当をバーベキューテラスで笑顔で頬張ります。午後は班別に自由行動。遊具や迷路、動物のショーを楽しむもよし。景色を眺めながらのんびり過ごすもよし。自分自身や家族へのお土産を選ぶもよし。みんな、思い思いに仲間との時間を堪能していました。



勝浦の宿に着くと、まずはフロントの豪華な意匠にびっくり。「中学生が泊まる場所じゃないよね」と感嘆する声も。部屋で着替えて大広間に集合。学年全員が揃った夕食風景はなかなか圧巻でした。「おいしいね」と口に出して言い合えないのは、残念でしたが、その分、目と舌で品数豊富な宿自慢の料理をじっくり味わいました。部屋でゆっくり風呂に入って、友達と語り、ほどほどの時間に就寝。深夜まで騒いで叱られる生徒は一人もいませんでした。



2日目。内房の岩井海岸に移動すると、強風ながら富士山がくっきり。地元の漁師さんから地引網について説明を受けた後、みんなで協力して網を引きます。最後尾から先頭に移ったり、全員で移動したり、ただ引っ張るだけではありません。この日は「大漁」とはいきませんでした。いろいろな種類の魚がかかりました。魚について一匹ずつ丁寧に説明してもらい、残った時間は波と戯れたり、ピチピチ跳ねる獲れたての魚を持って記念撮影したり、ここでも自然を満喫。



昼食は、体験会場の民宿でいただきます。グループごとにそれぞれの民宿に案内してもらい、地元の人と触れ合いながら、心づくしの料理を楽しみました。食事の後の干物作りも貴重な体験でした。本格的な料理包丁を使って一人3匹、生の鰯を一から捌きます。はじめはみんなおっかなびっくりでしたが、どんどん手つきがよくなり、3匹目にはもうすっかり「魚を捌ける人」という感じになっていました。最後にもう一度海岸に出て、友達と楽しく過ごしながら「帰りたいくないな」と呟く生徒の声が印象的でした。



出発前、しおりには校長からのメッセージとして「年度初めの予定とは違う形になりましたが、3年生の先生方が皆さんへの思いを込めて計画した、特別な修学旅行です。千葉県内には魅力的な自然や歴史・文化がたくさんあります。この修学旅行が、千葉の魅力を再発見するきっかけになるといいと思います。修学旅行は中学校生活の最大級の行事の一つです。全力で楽しんで、一生忘れられない思い出を作してほしいと思います。そのために、『仲間の良さを見つける』『人との出会いを大切に』『行動に細心の注意を払う』の3つのことを大切にしてください。」と載せました。生徒たちは、まさにこの願い通り、しっかり安全に気を付けながら友達との時間を満喫し、様々な人との出会いを通して千葉の魅力を十分に味わって、最高に充実した2日間を過ごしてくれたのではないかと思います。

部活動等 大会等の記録

- | | | | | | |
|-----------|-------------------|----------|--------------------------|--|--|
| ・卓球部 | 市川市市民体育大会卓球競技 | 女子シングルス | 準優勝 |  |  |
| ・陸上部 | 市川・浦安支部中学校駅伝大会 | 女子の部 | 第4位 | | |
| ・剣道部 | 市川市民剣道大会 | 第5区 区間賞 | | | |
| ・バドミントン部 | 千葉県中学校バドミントン大会 | 中学校女子の部 | 第3位 | 第5位 | |
| ・吹奏楽部 | 日本管楽合奏コンテスト予選 | 2年女子ダブルス | 第4位 | | |
| | 日本学校合奏コンクール千葉県大会 | 中学校B部門 | 最優秀賞(全国大会出場) | | |
| ・文芸部 | 高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会 | 中学校の部 | 銀賞 | | |
| | | 毛筆の部 | 大会奨励賞、特選、金賞、銀賞、銅賞 | | |
| | | 硬筆の部 | 日本武道館賞、大会奨励賞、特選、金賞、銀賞、銅賞 | | |
| ・市川市英語発表会 | 1年生暗唱の部 | 2年生暗唱の部 | 第2位 | 3年生暗唱の部 | 第5位 |

合唱発表会

11月5日(金)に3年生、10日(水)に1年生の合唱発表会が行われました。例年であれば、中学校生活最大の行事の一つとして全校で行う合唱祭ですが、今年度は学年行事としてリモートによる開催とし、コンクール形式ではなく、お互いに練習の成果を聴き合う発表会としました。3年生の合唱は、どのクラスも思いがこもっていて、クラスの絆が感じられる素敵な歌声でした。歌う前の緊張感と歌い終わった後の充実した表情は、例年の合唱祭と何ら変わらない、貴重なものでした。1年生の発表も、どのクラスも一生懸命で、しっかり音程もとれており、これからがとても楽しみになりました。最後に発表した、みのり学級の歌声も心にしみました。



妙典中は伝統的にとても合唱が盛んな学校です。今年度は合唱の練習自体が制限される日々が続き、先輩の歌声を聞くこともできませんでしたが、先生方の思いと、生徒の皆さんの努力によって、短い期間ながら集中して準備や練習を積み上げ、とてもよい会になりました。ここからまた、伝統を繋いでいってほしいと思います。(2年生は1月に予定しています)



校長室より...

今年もオレンジリボンキャンペーンが行われています。生徒会役員、各委員会、各学年等が様々な活動を行い、学区の小学校・幼稚園とも連携して「いじめ防止」に取り組みます。

このキャンペーンは、今から15年前、全国で相次いだいじめ報道に胸を痛めた当時の生徒会の生徒たちが、「何か自分たちにできることはないか」と考え、企画したものです。「いじめを防ぐ『仲間』である印に、リボンをつけてほしい」と、2006年11月の全校集会で生徒会長が呼びかけたという記録が残っています。リボンは「誰でもすぐ作れるように」と安全ピンに一巻きするだけの簡単なものにして有志で制作し、色は「暖かく、優しい感じがする」オレンジにしたそうです。

最初は、生徒自身の発案で始まった小さな活動が、形を変え、大きくなりながら、その趣旨は変わらずずっと受け継がれている...すごいことだと思います。今年度のテーマは「発見しよう。自分の良さ、仲間の良さ」です。自分も仲間も「かけがえのない存在」であることを実感することによって温かい人間関係を築き、みんなの力で笑顔あふれる妙典中にしていきましょう。